

羅 針 盤		方 策	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①各学科の特色を踏まえ、専門性を生かした教育課程に、生徒の80%以上が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の立場に立った新しい授業観に基づく授業研究を推進し、「より深く考えるようになる」、「よりうまくできるようになる」ことを目指した指導方法の充実を図る。</li> <li>生徒の実態を考慮し、基礎基本を重視しながら専門性の深化を図る。</li> </ul>
		②「あいさつは人より先に元気よく」を実行している生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の開始と終了の「あいさつ」を大切にす。</li> <li>登校時に「あいさつ運動」を行い、あいさつの習慣化を図る。</li> </ul>
		③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の充実、道徳教育や人権教育の推進を図り、自主的、主体的、協力的な学校生活が送れるよう支援する。</li> </ul>
		④インターンシップへ積極的に参加し、参加した生徒の80%以上が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会における対人関係や協調性、職業意識をはぐくむ。進路考察等に役立つ受入事業所の開拓を行う。</li> <li>商業科目等の学習を通して、ビジネス活動に興味を持たせ、インターンシップへの主体的な参加を支援する。</li> </ul>
		⑤社会人講師（交通安全教室、非行防止教室等）による講演等を生徒の80%以上が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演等のねらいを明確にし、生徒の興味、関心、知識、理解を深める魅力ある講師を招き、事前の打ち合わせをしっかりと行う。</li> </ul>
		⑥「課題研究」に、主体的に取り組んだと自己評価している生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期や年間を見通した自己テーマを設定させ、自信を持って取り組めるよう支援する。</li> <li>実践的な体験を通して、自発的な取組を引き出す。</li> </ul>
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①生徒の実態を踏まえた学習指導を行い「授業が分かりやすい」と、生徒の80%以上が答えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業や授業研究を通して、指導力の向上を図る。</li> <li>必要に応じて中学校までの学習内容の学び直しを行い、基礎基本の定着を図る。</li> </ul>
		②すべての教師がICTの効果的な活用を含めた「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、授業改善の推進に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、生徒の主体性を引き出す授業を目指し、ICTを有効活用した授業改善の推進を図る。</li> </ul>
		③読書指導により、学校図書館における1日平均貸出冊数が10冊以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「図書館通信」及び「新着図書案内」を定期的に発行し、生徒への読書意識を高める。</li> <li>図書館のディスプレイの工夫や、広報を通して本のPRを積極的に行う。</li> <li>蔵書データのデジタル化を進め、バーコードによる効果的な貸出を推進し、図書館の利用を増やす。</li> <li>ピリオバトル校内大会を実施し、生徒・教師の参加によって利用拡大に努める。</li> </ul>
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	①学習に意欲的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の進度、理解度等に遅れのある生徒に対し、習熟度別学習や計画的な補修等を実施し、つまずきや遅れを克服する。</li> <li>学習に消極的な生徒に対し、担任と教科担当との連携した指導により意識の変革を促す。</li> </ul>
		②授業以外での全ての自主学習時間（家庭学習及び朝学習や放課後の学習を含む）は、1日平均1時間以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科指導と連動した計画的で持続的な課題を提示し、ねらいや学習方法、提出日等を明示し、課題に真摯に取り組み提出させる姿勢を育てる。</li> <li>朝のSHR前に「朝学習活動」を導入し、学習意欲の喚起と習慣化を図る。</li> </ul>
		③全商検定1級三種目合格者数が100名以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の充実を図り資格取得につなげる。</li> <li>検定対策の実施。出席について、教科、学年で協力し取り組む。</li> <li>個々に対応した丁寧な指導。</li> </ul>
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1～2回程度実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での観察、登校時のあいさつ、声かけ等を積極的にを行い、生徒の変容を見落とさない指導に努める。</li> <li>定例の学年会議・運営委員会で必ず生徒の情報交換を行い、職員間で情報を共有する。</li> </ul>
		②生徒会活動が充実していると評価している生徒が、75%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会専用掲示板等を活用し、活動状況を全生徒に周知する。</li> <li>生徒会行事への全員参加を目標に、生徒個々の意見を生かした計画を立てる。</li> </ul>
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的にを行っていますか。	①「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的にしている」と認識している生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休業後に生と面談月刊を設け、適応指導と併せていじめの発見に努める。</li> <li>休み時間や昼休み等において生徒の行動を観察する。</li> <li>定期的に生徒の実態に応じたアンケートを実施する。</li> </ul>
		②部活動に加入している生徒が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立を全校集会やSHRで話し、促す。</li> <li>目的意識を高めさせるため、生活目標を立てさせる。</li> <li>必要に応じて個別健康相談を実施する。</li> </ul>
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	①欠席率が1.3%以下である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度初めに行う「部活動説明会」の充実を図る。</li> <li>各学年保護者会を通じて、部活動の意義を説明し、保護者の理解を得る。</li> </ul>
		②部活動に加入している生徒が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>LHR等で「進路の手引き」を活用しての進路学習を推進し、進路資料を有効活用できる指導体制を構築する。</li> <li>進路講話や学年集会等を通して、その時期に応じたタイムリーな進路情報を提供する。</li> <li>各学年の進路目標に応じた「進路ガイダンス」を実施し、外部講師による講話を取り入れることで、各自の目標設定が明確になるようにする。</li> <li>「進路だより」を継続的に発行することで、適時的な進路情報の発信を行う。</li> </ul>
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	①学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望調査は、保護者と生徒が話し合い、共通理解したうえで提出できるような内容とする。</li> <li>進路希望調査や適性検査等の結果を保護者に知らせることで、生徒の進路意識について家庭との共通理解を図る。</li> </ul>
		②進路通信を、年10回以上発行している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校が実施するオープンキャンパスや各機関が開催する進路相談会等への積極的な参加を勧め、自ら情報収集する姿勢を育成する。</li> <li>生徒が相談しやすいような進路室に環境を整え、個別相談を随時実施する。</li> <li>談話コーナーに求人票、進学資料等を配置することで、生徒自身が情報を閲覧できる環境を構成する。</li> </ul>
		③生徒の進路について理解している保護者が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路面談等の場面で、本人の興味、関心、能力等に応じた助言を行い、積極的に支援を行う。</li> <li>第3学年の2学期中に進路実現が叶わなかった生徒に対して、積極的に相談及び情報を提供し、早期の進路実現ができるように支援する。</li> </ul>
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①学年保護者会等に積極的に参加している保護者が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会等のねらい、内容を明確に伝え、担任から参加を働きかける。</li> <li>「PTAだより」を配布する。</li> </ul>
		②学校のWebページを1か月に1回以上更新している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の活躍、資格取得の成果、学校行事等のタイムリーな更新を行う。</li> <li>「伊商ニュース」を作成し、Webに掲載する。</li> </ul>
		③「学校見学会」等の実施により、「学校の様子が変わった」との回答が参加者の80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業の教科書や生徒の活動を紹介するコーナーを設置する。</li> <li>中学生の保護者や地域の方々の来校を促す。</li> </ul>
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	①ICTを活用した授業を80%以上の教師が実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTや学習支援ソフトなどを有効活用した授業改善が行えるよう情報提供を行う。</li> </ul>
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	①オンラインによるアンケートを2回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒向けの学校評価アンケートをクラスルームで配信し、実施する。</li> </ul>
		②ペーパーレスの職員会議を10回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議資料をPDF化し、各自のパソコンを見ながら実施する。</li> </ul>